資料４　第２次村上市子ども読書活動推進計画（検証）

（令和３年度～令和８年度）

計画の基本方針　１．地域社会全体での取組の推進
２．子どもが読書に親しむ機会の提供と環境づくり
３．子どもの読書活動の意義や重要性の普及

取り組み	事　業	成果・課題
１.家庭における読書活動の推進	・「うちどく」のすすめ ・本のある環境づくり ・ブックスタート事業の実施 ・子育て支援センターにおける読書支援活動 ・図書館における読書支援活動	・「うちどくノート」を作成・配布し、家庭での読書を推奨した。 ・ブックスタート時に読み聞かせの重要性や絵本を媒体とした親子のふれあいの大切さを伝えることができた。 ・子育て支援センターでの読み聞かせや図書貸出など、読書活動の啓発を行うことができた。 **【課題】** ・「うちどくノート」を日常的に利用してもらえるような工夫が必要。 ・家庭への情報提供方法を電子化するなどの検討が必要。
２.地域における読書活動の推進	・図書館の充実 ・子どもと本を結ぶ事業 ・ボランティアの養成	・ボランティア団体と連携し、定期的な読み聞かせや親子を対象とした催しを行い本に親しむ機会を作ることができた。 ・移動図書館車の定期運行や、保育園、小学校、子育て支援センター等への図書の定期貸出を継続し、身近に本のある環境を整えることができた。 ・「読み聞かせボランティア養成講座」を開催し、ボランティア育成につなげた。 **【課題】** ・ボランティアの高齢化による担い手不足。
３.保育園・幼稚園における読書活動の推進	・保育園・幼稚園における読書支援活動 ・本のある環境づくり ・保育士・幼稚園教諭の研修会への参加 ・保育園・幼稚園における読書支援活動	・日常的に絵本の読み聞かせを行い、本に親しむ機会を作るとともに、おたよりで園児の好きな絵本を紹介し、保護者にも読書に関心を持ってもらえるよう努めた。 ・団体貸出を行い、子どもたちが興味のある本に親しむことができる環境にを整えた。 **【課題】** ・保育士の絵本に関する研修会は限られているため、実践に結び付けることが難しい。
４.学校における読書活動の推進	・読書活動の推進 ・読書環境の整備 ・学校図書館活用の推進 ・司書教諭等の研修 ・家庭への啓発 ・学校図書館と市立図書館の連携による読書環境の充実と読書活動の推進	・朝読書や校内読書週間を設定し、本に親しむ機会を作ることができた。 ・図書館と学校が協力して市内小中学校図書館の蔵書数調査を行い、「蔵書管理」に関する課題を解消につながった。 **【課題】** ・司書教諭や学校司書と図書館が連携し、学校図書館の利用を促進していくことが課題。

5.図書館における読書活動の推進	・読書活動の推進と読書環境の整備 ・移動図書館車の定期運行 ・学校や保育園などへの支援 ・ボランティアへの支援 ・職員研修 ・インターネットによる情報提供の充実 ・あらゆる子どもへのサービスの充実 ・子どもに本や物語に親しむ機会を提供する取組	・学校を訪問しての読み聞かせやブックトーク、移動図書館車での本の貸出、職場体験の受け入れ等により読書活動を支援することができた。 ・図書館の情報を図書館 HP や市公式 SNS で積極的に情報発信したことで、読み聞かせ会などへの参加者の増加につながっている。 **【課題】** ・10 代向けのコーナー設置や、読書情報誌を定期的に発行し、小中学校及び高校に配布して読書活動に関心を持ってもらうよう努めているが、中高生の図書館利用は伸び悩んでいる。